

授 業 科 目 名	地 域 看 護 学 概 論	担 当 教 員	梅 林 奎 子	
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 (コ マ 数)	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準	
1	地域看護の概念	地域看護の概念、定義 地域保健と公衆衛生と総合保健医療 地域看護と公衆衛生看護(レポート課題提出) 公衆衛生の定義と公衆衛生看護	概念の変遷 公衆衛生と地域看護の統合	
2	地域看護の発祥	外国における地域看護の発祥、ナイチンゲールと地域看護 日本における地域看護の発祥と保健師の誕生	英・米・日本の地域看護の発祥と変遷、及び公衆衛生の発達と地域看護の変遷	
3		保健師助産師看護師法の規定(保健師と保健指導)	(一部は基礎教育の既習学習)業務内容と関係法規	
4	地域看護活動の理念	地域看護活動の理念、目的 地域看護活動と総合看護及び看護の継続性 プライマリーヘルスケアと地域看護活動、公衆衛生看護活動 ヘルスプロモーションと地域看護活動、公衆衛生看護活動	ノーマライゼーション ヘルスプロモーション コミュニティにおける活動とヘルスケアチーム	
5				
6	地域看護の機能・役割	地域看護の担い手と機能 保健師活動の実践例(レポートとグループワーク)		
7				
8	地域看護活動の原則と成立条件	地域看護活動の原則と成立条件		
9	地域看護活動の対象の特性	対象のとらえかた 個人の特性、家族の特性 ライフサイクルと地域看護 健康レベルと地域看護	生活環境の変化と健康問題のとらえ方、くらしと健康、保健行動のとらえ方(中項目で記載)	
10	地域看護活動の場の特性	地域(保健所・市町村保健センター等) 事業所及び地域看護との連携 学校及び地域看護との連携 その他(病院、福祉施設、訪問看護ステーション等)	コミュニティにおける活動とヘルスケアチーム サービス活動システム	
11	地域看護活動の方法とあり方	集団検診、健康教育、健康相談、家庭訪問 地区組織活動の実践例(松川町の例) GW 地区組織活動のまとめ ケアシステムづくりの実践例	自己尊厳と権利擁護 自立支援 マンパワーと組織的サポート	
12		保健師の活動のありかた	保健行動ととらえ方	
~				
14		実践例から保健師の活動の独自性、専門性、姿勢等を考える		
15	災害時の公衆衛生看護活動	緊急、災害医療におけるマネジメント 災害時の公衆衛生看護の役割	災害発生時の調査、救急看護、被災者、支援者の健康問題への対応。自立支援。 ボランティア活動への支援	

回	講義題目	教科内容	国家試験出題基準
16 ～ 29	保健師活動の歴史と展望	初期の保健師の活動(大正、昭和初期の保健師活動) 戦前、戦中、戦後の活動の歴史 保健師の身分の確立 母子、成人、老人の活動の歴史 結核、難病、公害、精神障害 保健師の教育の歴史 演習:学生が希望のテーマで歴史から保健師活動の本質、活動のあり方、今後の展望について考える	公衆衛生の発達と地域看護の変遷 発祥と変遷及び公衆衛生の発達と地域看護の変遷
30	公衆衛生看護管理	公衆衛生看護管理とは、目的、行政と保健師の活動 人事管理、業務管理、財政管理 新しい事業の施策化と機能	組織機構と看護教員の役割、業務内容と関係法規
テキスト			
参考書			

授 業 科 目 名		地 域 看 護 学 概 論	担 当 教 員	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	地域保健活動の基本 1	地域保健活動の考え方、地域保健活動の目的		人々が自らの健康問題を認識する学習課程、都市化・過疎化、少子・高齢化、文化、風俗、習慣、食生活、住生活、仕事、社会規範、人間関係、情報過多の中の健康不安、保健行動と信念・態度・習慣、地域住民の予防的保健行動、病気への対処、コンプライアンス慢性疾患患者のセルフケアと家族関係、専門職、行政職、住民組織等の連携、地域住民の自助、互助および協働活動の把握と社会資源の利用状況 地区特性の把握、健康調査法、統計資料の分析 地区特性の把握、健康調査法、統計資料の分析 計画の妥当性の検討、活動方法の選定と手順 計画の妥当性の検討、活動方法の選定と手順 計画の妥当性の検討、活動方法の選定と手順 活動の調整、活動評価 活動の調整、活動評価 地域保健医療計画、老人保健福祉計画、母子保健計画 計画性、計画レベルに対応した合意形成、計画と評価の関連、修正・変更案の検討及び作成 住民ニーズの施策化	
	地域保健活動の基本 2	対象の捉え方 1			
2		地域保健活動の対象、地域の健康問題の捉え方、健康問題の構造			
3	地域保健活動の基本 3	対象の捉え方 2 現代日本人の生活と健康問題			
4	地域保健活動の展開 1 地区把握	地区把握・問題発見の考え方と方法			
5	地域保健活動の展開 1 地区把握	"			
6	地域保健活動の展開 2 地区診断	地区診断の目的と方法			
7	地域保健活動の展開 3 活動方針・活動目標の設定	活動方針・活動目標の考え方と盛り込むべき内容、優先順位の考え方			
8	地域保健活動の展開 4 地域保健活動計画の立案	地域保健活動計画立案のプロセス			
9	地域保健活動の展開 4 地域保健活動計画の立案	必要量・稼働量の算定、予算化、地域保健活動計画と住民参加			
10	地域保健活動の展開 5 活動計画の実践と評価	地域保健活動のモニタリングと計画の修正、地域保健活動の評価の目的と考え方			
11	地域保健活動の展開 5 活動計画の実践と評価	地域保健活動の評価に用いる指標と評価方法			
12	保健計画と保健師の活動 1	保健計画とは			
13	保健計画と保健師の活動 2	保健計画の構成、保健計画の策定過程、保健計画を実現させるための条件・方法、保健計画の評価			
14	保健計画と保健師の活動 3	保健計画の策定・推進・評価における保健師の役割			
15	施策化	施策化の考え方と保健師の役割			
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名		在 宅 看 護 概 論	担 当 教 員	小 林 亜 由 美	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	在宅看護の理念と目的	在宅看護の理念と目的		在宅療養者を支援する看護の視点、在宅ケアと在宅看護、長期臥床患者のケアと家族への保健指導、病弱者に対する保健指導 長期慢性疾患患者、在宅ケアを要する高齢者に対する各種保健事業によるアプローチ 在宅ケアマネジメントの必要性・概念・過程、在宅療養者への看護と介護の支援体制及びその内容(法的根拠別実施機関別) 新たな社会資源や制度の開拓 長期慢性疾患患者の保健指導、在宅ケアを要する高齢者の保健指導におけるターミナルケア	
2	在宅看護の対象	在宅看護の対象者			
3	在宅療養者のアドボカシー	療養者のアドボカシー			
4	在宅看護に関わる現状	在宅看護に関わる現状			
5	在宅療養者の地域支援体制 1	在宅ケアに関わる関係機関・関係職種と保健サービス			
6	在宅療養者の地域支援体制 2	在宅ケアマネジメントの理念・目的・方法			
7	在宅療養者の地域支援体制 3	ケアチームのあり方、チーム形成の方法、ケアチームにおける保健師の役割			
8	在宅療養者の地域支援体制 4	在宅ケアシステムのあり方、在宅ケアシステムの構築に関わる保健師の役割			
9	在宅療養者の地域支援体制 5	在宅ケアシステムの評価、新たな社会資源や制度の開拓			
10	介護保険制度の概要 1	介護保険 1			
11	介護保険制度の概要 2	介護保険 2			
12	介護保険制度の概要 3	介護保険制度に関わる看護職の役割			
13	在宅ターミナルケア	在宅ターミナルケアの動向、在宅ターミナルケアに関わる看護職の役割			
14	在宅療養者の地域支援体制 6	在宅ターミナルケアのあり方、在宅ターミナルケアを支える地域支援体制の実践例			
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名	地 域 看 護 活 動 論	担 当 教 員	矢 島 正 栄
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年
単 位 (コ マ 数)	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修	講義室 302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
1	健康相談 1	健康相談の意義と目的	保健指導の概念
2	健康相談 2	健康相談の対象	個人の健康上のリスクに応じた保健指導、地域の人々の保健指導、健康の保持増進を求める地域の個人、健康、生活上のリスクを持つ個人、疾病や障害の悪化予防・治療・快復及びターミナルの援助を必要とする個人
3	健康相談 3	健康相談の技術	面接技術
4	健康相談 4	〃	
5	家族保健指導 1	家族の発達課題、家族の持つ保健機能	家族の発達課題
6	家族保健指導 2	家族の問題把握と診断、家族支援	家族関係と健康問題の評価、家族単位の保健指導
7	家庭訪問 1	家庭訪問の意義と目的、家庭訪問の対象	健康の保持増進を求める家族、健康、生活上のリスクを持つ家族、疾病や障害の悪化予防・治療・快復及びターミナルの援助を必要とする家族
8	家庭訪問 2	家庭訪問計画の作成、訪問準備、訪問目的の伝え方	対象選定と優先、訪問指導計画
9	家庭訪問 3	家庭訪問における観察・情報収集、看護技術援助、保健指導	訪問指導の実践、情報収集と問題把握
10	家庭訪問 4	〃	
11	家庭訪問 5	家庭訪問の事後処理、訪問記録の意義と作成方法	訪問指導の評価、訪問指導記録・報告、関係職種との連携
12	健康診査	健康診査の意義・目的・対象、集団検診事業展開の方法と保健師の役割	
13	地区組織活動 1	地区組織活動の意義と目的	
14	地区組織活動 2	地域住民の自助と互助、地区組織・専門職・自治体の連携、社会資源の活用	専門職、行政職、住民組織等との連携、地域住民の自助、互助及び協働活動の把握と社会資源の利用状況
15	地区組織活動 3	地区組織の育成・運営に関わる保健師活動のあり方	人々が自らの健康問題を認識する学習課程、セルフヘルプグループの運営、学習を促進する媒体
16	災害時の保健活動	災害時の保健活動	事故・災害発生時の調査、救急看護と避難対処への連携、事故・災害発生後の健康問題の時系列変化と対処、被災者の支援者の健康問題と対処、避難所、仮設住宅、行政機関の支援体制づくり、ボランティアおよび被災住民のセルフヘルプグループ

回	講義題目	教科内容	国家試験出題基準
17	健康教育 1	健康教育の理念と目的、患者教育の考え方	への自立支援
18	健康教育 2	健康教育と保健行動、健康教育の理論	健康教育の目的と意義
19	健康教育 3	健康教育の対象・方法	
20	健康教育 4	健康教育活動の展開過程	啓発活動の方法
21	健康教育 5	健康教育計画と指導案	
22	健康教育 6	健康教育の評価	教育媒体の作成方法と活用方法
23 ~ 30	演習 健康教育演習	<p>1. 目的 地域の人々を対象とする集団教育の展開方法と、教育的働きかけのあり方を学ぶ。</p> <p>2. 実施方法 1)対象:高山村老人会、婦人会、若妻会等 2)内容:対象の要望に応じてテーマを設定し、健康教育の計画・実施・評価を行う。 3)実施期間:平成 15 年 11 月</p>	
テキスト			
参考書			

授 業 科 目 名		地 域 看 護 活 動 論	担 当 教 員	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1 ~ 13	演習 地区診断と地域保健 活動計画作成演習	<p>1. 目的 地域住民のヘルスニーズの把握方法と、ヘルスニーズに対応させた地域保健活動の展開方法を理解する。</p> <p>2. 方法 1)対象地域:高山村 2)内容:対象地域の地区把握・地区診断・健康問題の分析・地域保健活動計画の作成・地域保健活動評価計画の作成 3)実施方法:4~5グループに分かれて母子、成人等の1分野を担当し、グループワークを基本として行う。</p> <p>各グループが作成した地区活動計画を発表し、その内容について全体討議を行う。 助言者:高山村保健センター保健師 地域看護学専攻科教員</p>		<p>地区特性の把握、健康調査法、統計資料の分析、計画の妥当性の検討、活動方法の選定と手順、活動の調整、活動評価</p>	
14 15	地域保健活動計画報告・検討会				
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名		在 宅 看 護 活 動 論	担 当 教 員	小 林 亜 由 美	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	高齢者の在宅看護 1	寝たきり老人の在宅看護		長期慢性疾患患者の保健指導	
2	高齢者の在宅看護 2	痴呆性老人の在宅看護		痴呆症患者のケアと家族への保健指導	
3	在宅看護技術 1	<p>在宅看護のフィジカルアセスメント 食事・栄養・経管栄養法、 口腔ケア、 排泄のケア（摘便） 移動 リハビリテーション 清拭 洗髪</p>		<p>後遺症及び長期身体障害を持つ者のリハビリテーション</p>	
4	在宅看護技術 2				
5	在宅看護技術 3				
6	在宅看護技術 4				
7	在宅看護技術 5				
8	在宅看護技術 6				
9	在宅看護技術 7				
10	在宅看護技術 8				
11	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 1	在宅酸素療法(吸引)を行う患者の管理と支援		呼吸器疾患の保健指導	
12	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 2	褥創の予防とケア			
13	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 3	静脈中心動脈栄養法を行う患者の管理と支援			
14	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 4	CAPD を行う患者の管理と支援		腎不全患者の保健指導	
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名		母 子 保 健 活 動 論	担 当 教 員	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	母子保健の理念	母子保健の理念と目的、わが国の母子保健活動の歴史 的変遷			
2	母子保健の現状 1	わが国の母子保健の水準			
3	母子保健の現状 2	我が国の母子保健活動の概要、すこやか親子 21			
4	母子の健康に関わる 要因	ライフサイクルからみた母子保健、母子の健康に影響 を与える要因			
5	若い家族の健康生活 と保健指導の基本	若い家族の健康生活と保健指導、遺伝相談		家族計画	
6	妊産褥婦の健康生活 と保健指導の基本 1	妊娠・分娩・産褥期の健康生活と保健指導、勤労女性 の母性保護		妊娠・分娩・産褥期の保健指導	
7	妊産褥婦の健康生活 と保健指導の基本 2	遺伝相談、妊産褥婦を対象とする保健サービス			
8	乳幼児期の健康生活 と保健指導の基本 1	新生時期の成長発達・健康・生活と保健指導、新生児 期を対象とする保健サービス		乳幼児の発達と生活に関する保 健指導、乳幼児期の健康問題と 保健指導、事故防止、予防接種、 育児期の保健指導	
9	乳幼児期の健康生活 と保健指導の基本 2	乳児期の成長発達・健康・生活と保健指導、乳児期を 対象とする保健サービス			
10	乳幼児期の健康生活 と保健指導の基本 3	幼児期の成長発達・健康・生活と保健指導、幼児期を 対象とする保健サービス			
11	乳幼児期の健康生活 と保健指導の基本 4	乳幼児健康診査の実際と保健師の役割			
12	学童期の健康生活と 保健指導の基本	学童期・思春期の成長発達・健康・生活と保健指導 (性教育については職域保健活動論で扱う)		思春期の保健指導	
13	ハイリスク母子の保 健指導 1	未熟児、多胎、心身障害児、小児慢性特定疾患患児の 保健指導		成長・発達上のリスクが高い子 どもへの保健指導、長期慢性疾 患患児の保健指導、地域のサポ ートシステム、各種保健事業に よるアプローチ	
14	ハイリスク母子の保 健指導 2	育児環境や育児方法に問題がある母子・ハイリスクな 母親の保健指導		育児上のリスクが高い母性への 保健指導、子どもの虐待と保健 指導、在日外国人への看護援助、 地域のサポートシステム、各種 保健事業によるアプローチ	
15	更年期の保健指導 働く女性の母性保護	更年期の保健指導、働く女性の母性保護		更年期の保健指導	
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名		成人・高齢者保健活動論	担 当 教 員	小 林 亜 由 美	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 (コ マ 数)		2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修	講義室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	成人高齢者の保健施策 1	高齢者保健の動向		成人 老年期の発達課題	
2	成人高齢者の保健施策 2	老人保健法		各種保健事業によるアプ	
3	成人高齢者の保健施策 3	保健事業計画		ローチ	
4	成人高齢者の保健施策 4	健康作り対策の変遷	健康増進法	健康保持・増進における	
5	成人高齢者の保健施策 5	医療保障制度		保健指導	
6	成人保健指導 1	生活習慣病対策		生活習慣と疾病関与の評	
7	成人保健指導 2	高脂血症の保健指導		価と保健指導の進め方	
8	成人保健指導 3	糖尿病の保健指導		糖尿病	
9	成人保健指導 4	高血圧の保健指導		循環器疾患	
10	成人保健指導 5	骨粗鬆症の保健指導			
11	成人保健指導 6	貧血の保健指導			
12	成人保健指導 7	たばこの指導			
13	成人保健指導 8	アルコールの指導			
14	成人保健指導 9	がんの知識と予防		がん	
		夏季休暇中に個別保健指導の演習			
15	成人保健指導 10	腎疾患、人工透析、腎臓移植		腎不全患者の保健指導	
16	難病保健指導 1	難病患者の保健指導 1		難病患者の保健指導	
17	難病保健指導 2	難病の概念と動向			
18	難病保健指導 3	難病患者の保健指導 2			
19	感染症保健指導 1	感染症対策のあゆみ、感染症新法		予防教育、感染症予防対	
20	感染症保健指導 2	結核対策		策、生動向調査、発生時	
21	感染症保健指導 3	結核の予防と管理		および集団発生時の保健	
22	感染症保健指導 4	結核の保健指導		指導、結核の疫学・病態臨	
23	感染症保健指導 5	エイズ対策、性感染症対策、ATL		床、予防教育、結核の疾	
24	感染症保健指導 6	肝炎対策・保健指導		患管理、在日外国人への	
25	感染症保健指導 7	院内感染(MRSA等)		指導、性行為感染症の疫	
26	感染症保健指導 8	腸管出血性大腸炎(O157等)		学・病態・臨床、予防教育、	
				患者管理、その他の感染症	
27	障害者(児)保健指導 1	障害者の権利と環境づくり		の疫学・病態・臨床、予	
				防教育、患者管理	
28	障害者(児)保健指導 2	障害者(児)と家族の保健指導		障害の捉え方、地域・住環	
				境の整備、成人期の身体	
				障害、日常生活における	
				保健指導、障害の予防と	
				自立支援	
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名		地域精神保健福祉活動論	担 当 教 員	竹 内 一 夫	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	精神保健福祉概論	健康の定義、健康と不健康、心身相関		発症に關与する疾病の發生過程とその予防 社会復帰施設 精神障害者の生活の捉え方 社会復帰における精神保健活動 職親、精神障害者保健福祉手帳等、各種保健事業によるアプローチ	
2	心の発達と精神保健	発達心理学、社会心理学の基本			
3	心の発達と精神保健	"			
4	精神保健疾病概論 1	精神保健活動の対象となる疾病			
5	精神保健疾病概論 2	"			
6	精神保健福祉概論 1	医療福祉制度における精神保健の歴史と現状			
7	精神保健福祉概論 2	地域保健行政における精神保健の仕組みと動向			
8	精神保健援助技術 1	基本的な働きかけの方法			
9	精神保健援助技術 2	"			
10	精神保健援助技術 3	場所別の援助のあり方			
11	精神保健援助技術 4	"			
12	地域精神保健活動 1	地域精神保健活動における看護職の役割と活動の			
13	地域精神保健活動 2	実際			
14	地域精神保健活動 3	"			
15	総括	まとめと評価			
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名	職 域 保 健 活 動 論	担 当 教 員	齋藤玲子・中下富子	
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準	
1	【産業保健】 職域保健(産業保健) の活動と意義	産業保健の目的・対象 労働衛生の3管理	産業保健の動向	
2	労働衛生法規と労働 衛生行政	労働衛生の歴史・法律の変遷 主な法令、安全衛生法、じん肺法、労働基準法 業務上の疾病の範囲		
3	作業管理	粉塵作業、有機溶剤作業、VDT 作業、腰痛対策、騒 音対策、保護具	作業及び作業環境の安全 管理	
4	作業環境管理	作業環境管理の基本		
5	職業病・作業関連疾 患	化学的要因によるもの、物理的要因によるもの 業務上疾病の取扱いについて	職業病予防	
7	労災保険 健康管理	健康管理とそのすすめ方、職場における健康診断の概 要、一般健康診断、特殊健康診断、THP 活動 オフィス労働の健康管理、労働時間と健康管理、中高 年の健康管理、 女子・年少労働者の健康管理、外国人労働者の健康管 理、海外労働者の健康管理	健康管理	
8				
9	メンタルヘルス 職場見学 産業保健師の役割・ 業務・活動の実際	総合的な管理と業務調整 企業内における保健師活動とその実際 今後の課題、産業保健師に求められる資質	産業保健師の職務 職場の特質と健康管理上 の課題	
1	【学校保健】 学校保健とは	学校保健の考え方と構造 教育に果たす養護教諭の役割 学校における健康教育	学童期の特質と健康課題 養護教諭の職務 健康教育	
2	学校保健計画 学校保健組織活動	健康実態の把握と課題 学校保健計画の基本と内容 学校保健組織 学校保健委員会とその進め方 保健室の機能 保健室経営案	保健計画 学校保健の組織体制	
3	保健室の機能と運営 健康診断	健康診断の目的と展開 健康視察の方法	健康診断 健康管理と疾病管理	
4	健康観察	伝染病予防と管理の実際		
5	疾病の予防と管理 救急処置活動	救急処置の進め方の基本 救急体制 健康相談活動の基本とその進め方	救急処置 保健教育	
6		保健学習・保健指導の基本と実際		
7	健康相談活動	特殊教育諸学校(盲・聾・養護学校)における養護教諭 の役割	学校保健の現状と課題	
8	保健教育活動 障害児教育	養護教諭に必要な能力とこれからの養護教諭		
テキスト				
参考書				

授 業 科 目 名		国 際 保 健 活 動 論	担 当 教 員	矢 嶋 和 江	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
記 入 不 要		1 単 位 (8 コ マ)	選 択	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1 2	国際協力とは	国際協力の考え方の変遷 第二次世界戦争以降の取り組みと開発思想 先進国・開発途上国の区割り 国際援助機関とその役割 開発途上国の援助ニーズにどのように応えてきたか、各機関の役割、NGOの役割などについて概説する。 日本の国際協力の流れ 日本が受けてきた援助		国際協力の意味を理解する 国際援助機関とその役割	
3	看護の国際協力	国際看護の考え方 看護職の国際協力の流れ 第二次世界戦争前・戦争後の活動		世界における看護職の役割と看護活動の内容について理解する。 国際看護活動の意義と必要性 我が国の海外における国際看護活動	
4 5	開発途上国の健康問題	健康問題の格差 生活と環境 貧困と健康 栄養と感染症 母子保健とジェンダー リプロダクティブヘルスの視点から母子保健の現状を理解する。 伝統的医療・民族としての慣習			
6 7 8	国際協力に求められるもの 協力活動の実践例	国際協力のイメージ 求められる能力は何か 青年海外協力隊保健師隊員の活動例(VTR) 途上国の保健問題について、問題の派生する要因、その対策、今後の課題などについて考える。			
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名	カ ウ ン セ リ ン グ	担 当 教 員	北 川 公 路	
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)	1 単 位 (8 コ マ)	選 択	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準	
1	カウンセリングとは何か	カウンセリングの特徴 カウンセラーの役割	面接技術(カウンセリング)	
2	カウンセリングの理論と方法	クライアント中心療法 行動カウンセリング		
5		認知行動カウンセリング 精神分析的アプローチ		
6	カウンセリングと心理テスト	カウンセリングにおける心理テストの意義と役割 心理テストの種類		
7		質問紙による人間理解		
8	事例研究	看護の面接事例 ロールプレイ、紙上応答訓練など実習をまじえて行う		
	テキスト			
	参考書			

授 業 科 目 名		運 動 療 法 論	担 当 教 員	近 藤 照 彦	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	後 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (8 コ マ)	選 択	講 義 室	302 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	講義	運動療法論及び運動処方概説 体組織（身体計測、体脂肪測定） 筋力および筋パワーの測定 運動負荷試験		健康の指標、予防医学 骨格系の生理と解剖 筋系の生理と解剖 心臓の生理と解剖 呼吸器系の生理と解剖	
2	実習				
3	実習				
4	実習	同上		同上	
5	実習	同上		同上	
6	講義	データ処理 筋力、体組織および体力のそれぞれの測定値から対象 学生全体および個人の健康度を検討する。 それぞれの測定値間の関連性を検討する。 健康関連指標とライフスタイルの関連性を検討する。		健康の指標、予防医学	
7	講義	肥満関連の最近の話題について論議する。		予防と健康管理	
8	講義	運動療法論の総括			
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名		歯 科 保 健 論	担 当 教 員	小 林 圭 一	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位 (8 コ マ)	選 択	講 義 室	302 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	概説	歯科についての基本的知識		8020 運動 各種歯科保健事業 障害児・者の歯科保健 各種歯科保健事業 各種歯科保健事業 各種歯科保健事業	
2	地域歯科保健	歯科保健医療の基本的理念について 8020 運動について 健康日本 21 について 在宅歯科診療において 保健所における歯科保健事業において			
3	母子歯科保健	幼児期における歯科保健の意義			
4		幼児期の虫歯の特徴 幼児期における虫歯の予防 幼児期における歯科保健指導 障害児・者を含む			
5	学校歯科保健	歯の健康づくりの理論と実際			
6		歯の保健指導の実際 歯の保健指導における組織活動			
7	成人・老人歯科保健	成人歯科保健事業			
8		在宅要介護者歯科保健推進事業			
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名	英 語	担 当 教 員	ク ラ ー ク ・ マ レ ン
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期
単 位 (コ マ 数)	1 単 位 (1 5 コ マ)	必 修	講 義 室 3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
1 2 3 ~ 5 6 ~ 8 9 ~ 11 12 13 14 15	概要説明 英語力テスト 医学看護文 ~ 単語、熟語 文章読解 医療看護文 ~ 単語、熟語 文章読解 医療看護文 ~ 単語、熟語 文章読解 総合コミュニケーション方法 総合コミュニケーション方法 試験 講評	国際化の中で日本の医療看護関係の専門職者が海外で貢献する機会は増加している。実際の医療看護関係の英字、論文、出版物等を教材として使い、より幅広い専門分野の単語、熟語、文章力を習得し、国際的レベルの情報選択能力及びコミュニケーション力を習得する。	
	テキスト		
	参考書		

授 業 科 目 名	英 語	担 当 教 員	ク ラ ー ク ・ マ レ ン	
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	後 期	
単 位 (コ マ 数)	1 単 位 (1 5 コ マ)	選 択	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準	
1	概要説明	医療・看護関係の英字論文・出版物を研究する。英字レポートを作成し、それについて発表、プレゼンテーションをする。英語でのコミュニケーション力を向上させる。		
2	課題			
~	リサーチ			
6	レポート作成			
	プレゼンテーション			
	ディスカッション			
	講評			
7	課題			
~	リサーチ			
11	レポート作成			
	プレゼンテーション			
	ディスカッション			
	講評			
12	総合課題			
13	レポート作成			
~	プレゼンテーション			
15	総評			
テキスト				
参考書				

授 業 科 目 名		疫 学	担 当 教 員		
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 (コ マ 数)		2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	健康の定義	健康とその成り立ち		疫学の対象、環境要因と宿主要因、人の特徴と疾病頻度、場所の違いと疾病頻度、時間と疾病頻度、コホート研究、患者対照研究 見逃しと見過ぎ、高血圧、糖尿病、肥満、難病、寝たきり、痴呆、身体障害 感受度、特異度、妥当性、精度 検診、一次・二次予防 直接法、間接法 罹患率、有病率、死亡率、生存率 人口ピラミッド、年少・老年人口指数、老年化指数、死亡、出生、婚姻と離婚、人口再生産、生命表 顕性・不顕性感染、混合・再・二次・日和見感染、保菌者、接触者、潜伏期、散発発生、地方・汎流行、趨勢・周期・季節変化、病原体・感染経路・感受性と対策、マスターテーブル、結核、食中毒、性病、エイズ、法定・検疫・学校伝染病 国民生活基礎調査 国民栄養調査 頻度と分布、危険因子、検診、一次予防と二次予防 頻度と分布、危険因子、検診、一次予防と二次予防 頻度と分布、危険因子	
2	疫学的方法(1)	疫学の定義、記述疫学			
3	疫学的方法(2)	分析疫学、検査の妥当性と信頼性			
4	健康管理の基礎(1)	健康管理の意義、正常と異常の考え方			
5	健康管理の基礎(2)	スクリーニング検査			
6	健康管理の基礎(3)	健康管理の範囲、健康づくりについて			
7	健康指標(1)	健康現象の測定方法、指標化の方法			
8	健康指標(2)	死亡率に関する指標、年齢調整死亡率			
9	健康指標(3)	生命表、出生率に関する指標、人口の再生産率			
10	健康の水準(4)	人口、死亡、平均寿命、出生の動向			
11	感染症の疫学(1)	感染症成立の要因、流行現象			
12	感染症の疫学(2)	感染症の予防、感染症関連法規の概要			
13	感染症の疫学(3)	主な感染症の頻度と分布			
14	演習				
15	試験				
16	環境と健康(1)	環境と健康のかかわり			
17	環境と健康(2)	生活環境と健康			
18	環境と健康(3)	環境上の問題と保健活動の展開			
19	生活習慣と健康	国民栄養の現状、喫煙・飲酒習慣			
20	生活習慣病の疫学(1)	悪性新生物の疫学			
21	生活習慣病の疫学(2)	循環器疾患の疫学			
22	生活習慣病の疫学(3)	糖尿病の疫学			
23	老年期の健康管理	老年期の疫学的特徴			
24	その他の疾患の疫学				
25	疫学演習(1)	授業で取り扱った内容を、仮想データを用いて疫学方法の選定から分析まで2~3人のグループで演習を行う			
26	疫学演習(2)				
27	疫学演習(3)				
28	疫学演習(4)				
29	疫学演習(5)				
30	試験				
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名	保 健 統 計	担 当 教 員	王 娜 仁			
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年			
単 位 (コ マ 数)	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修	講義室	3 0 2 講 義 室		
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準			
1	保健活動と統計データの性質	看護、保健活動の中で統計を活用する意義について 質的データと量的データ、尺度水準	母集団、標本、母数と統計量、 確率分布、誤差、調査票の設計、 地域集団の健康情報 度数分布とヒストグラム 平均値、中央値、最頻値、標準 偏差 平均値の推定、割合の推定、相 関係数の推定 平均値の検定、割合の検定、相 関係数の検定 平均値の推定、検定 割合の推定、検定 相関係数と回帰係数 相関係数の推定、検定 コンピュータ、ソフトウェア 電子情報の管理 平均値、中央値、最頻値、標準 偏差、範囲とパーセントイル、 割合、度数分布とヒストグラム、 相関係数と回帰係数、図表によ る表現、人口ピラミッド、年少・ 老年人口指数、老年化指数、死 亡、出生、婚姻と離婚、人口再 生産、生命表、国民生活基礎調 査、患者調査、国民栄養調査、 医療施設調査、伝染病・食中毒・ 健康保険・学校保健統計			
2	母集団と標本	母集団と標本概念、疫学的調査方法、質問紙による調査				
3	一変数の整理(1)	度数分布、代表値と散布度				
4	一変数の整理(2)	代表値と散布度・演習				
5	標本分布	平均値の分布と中心極限定理				
6	母数の推定	点推定、区間推定、母平均の推定、母比率の推定				
7	検定(1)	検定の論理と手順				
8	検定(2)	母平均値の検定、母比率の検定				
9	検定(3)	母平均値の差の検定				
10	相関と関連(1)	量的データ間の関係、相関係数と相関係数の検定				
11	相関と関連(2)	質的データ間の関連、クロス集計とカイ2乗検定				
12	相関と関連(3)	質的データと量的データの関係、順位相関係数				
13	検定(4)	一元配置分散分析、ノンパラメトリック検定				
14	演習					
15	試験					
16	保健統計とその見方	パソコンを用いて推測統計、及び統計調査の方法を学 習し、実際に統計処理を行う				
~						
27						
28	まとめ(1)	保健統計演習のまとめ、人口統計の概要				
29	まとめ(2)	保健統計演習のまとめ、保健統計資料の概要(1)				
30	まとめ(3)	保健統計演習のまとめ、保健統計資料の概要(2)				
テキスト						
参考書						

授 業 科 目 名		保 健 福 祉 行 政 論	担 当 教 員	大 野 絢 子	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 (コ マ 数)		2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ~ 12	公衆衛生行政の理念と目標 公衆衛生行政の発展過程 公衆衛生行政の財政 公衆衛生行政の制度と機能 地域保健法に基づく新しい動向 保健医療計画 保健予防活動の実際	(1)公衆衛生とは (2)衛生行政と公衆衛生 (3)健康政策の時代 わが国における公衆衛生行政の発展 (1)国の財政の仕組み (2)地方財政の仕組み (3)国と地方公共団体の関係 公衆衛生行政の分野 地域保健の体系、地域保健法、地方公共団体行政の課題 地方公共団体の基本構想と保健医療計画、保健医療計画の評価と推進管理、費用・効果、医療費の分析 地域における保健予防活動		保健医療福祉行政の概要 国の行財政のしくみ、地方公共団体の行財政のしくみ、予算の機能と原則、租税制度、対国民所得比の租税・社会保障負担の推移、地方公共団体と国の費用配分の構造 自立支援をする地域政策、介護システムの構築、地方自治法による首長の権限、審議会等の役割、保健医療福祉の執行機関、情報公開、都道府県・市町村の行政機関の構造と機能、保健医療福祉行政の執行機関の組織化、非営利民間団体の構造と機能、企業組織の運営、自助組織の社会的役割、ボランティアの発展、自助組織とボランティアの活動と保健医療福祉行政の関係 基本構想と保健医療福祉計画、老人保健福祉計画、母子保健計画、障害者プラン、サービスの圏域と組織構成、サービス実施における組織体制、施設・在宅の保健医療福祉計画、受益者及び関係部門間の意見とサービスの調整、保健医療福祉計画の評価と推進管理、費用効果の概念・手順・経済的測定・医療費の分析 市町村と都道府県の役割分担と体制整備、保健所の役割と機能強化、政令市保健所制度の推進、市町村保健センターの役割	

回	講義題目	教科内容	国家試験出題基準
13	医療	医療対策の概要、医療提供体制、医療の財政	医療提供の理念、医療提供の現状、医療提供機関の体系、保険診療制度の仕組み、保険診療制度給付の種類・範囲
14	薬事、生活環境、環境保全	薬事行政の概要、医薬品・医療用具の安全対策、血液事業、薬事監視、麻薬・覚醒剤等の対策、食品保健、環境衛生、建築物衛生、家庭用品の安全、環境行政の概要、自然環境保全、公害対策、環境と健康被害、放射線	
15	試験		
16	社会保障・社会福祉		社会保障制度・社会事業・公衆衛生の萌芽、最低限度の生活保障、伝染性疾患の防止、措置制度の基盤、救貧から予防活動への転換、国民皆保健制度、国民皆年金制度、給付水準の引き上げ、老人医療費の無料化、社会福祉施設緊急整備5ヵ年計画、公害対策、ホームヘルパー派遣制度、高齢化に対応した社会保障制度の確立、プライマリヘルスケア、国民健康づくり対策、障害者対策に関する長期計画、老人介護対策、高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略、地域保健対策、医療計画の策定、老人福祉関係8法の改正、訪問看護制度、エンゼルプラン、地域精神保健福祉対策
17	の理念と歴史		
18	社会保障・社会福祉	所得保障、医療保障	社会保障の給付と財源、医療保障制度、年金制度等
19	の法体系と行政	〃	
20	〃	生活保護制度	最低限度の生活保障
21	〃	児童福祉	母子保健計画
22	〃	障害者(児)の社会福祉	障害者プラン
23	〃	家庭福祉	在宅の保健医療福祉計画
24	〃	高齢者の社会福祉	老人保健福祉計画等
25	社会福祉の諸方法	社会福祉実践の基本問題	
26	〃	ケースワーク	
27	〃	グループワーク	
28	〃	コミュニティーワーク	
29	社会福祉実践の機関と専門職		
30	〃		
テキスト			
参考書			

授 業 科 目 名	地 域 看 護 学 研 究	担 当 教 員	梅 林 奎 子
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年
単 位 (コ マ 数)	2 単 位 (3 0 コ マ)	必 修	講義室 302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
1 ~ 7	ガイダンス 社会調査とは	研究時間 60 時間の概要をガイダンスする 各自の研究の分野についての希望を調査する 研究テーマの決定から論文提出までは既習学習であるが、確認する 研究計画書作成について 地域看護活動においては、地区診断や地域の健康問題を特定するための調査を実施し、統計的解析が求められると同時に必要となる したがって、社会調査法の概要を理解し、地域看護に適用かつ応用できるように社会調査について概説する	疫学調査方法(記述疫学、分析疫学、介入研究、研究計画) 交絡、偏り、マッチング 統計調査の方法(調査票の設計、平均値、中央値、標準偏差等)
	調査方法	社会調査、調査研究とは 地域看護への適用 調査研究の方法(統計的調査と事例研究法) 調査票と質問紙 調査項目と質問 調査票の構成(質問紙の作成) 集計計画 調査の方法(自記式・他記式)(集合調査・留め置き・面接等) 測定尺度 データのまとめ方 データの分析(疫学・保健統計の知識を適用)	
	データの整理		
8 ~ 30	論文作成 演習 報告会 論文提出	論文の構成、文献 抄録の作成 グループ編成し実施する(5~6グループ) 成果を発表する 授業時間のみでは完成しないので、自己の時間を活用して論文をまとめる 別途指示する 別途指示する	
	テキスト		
	参考書		

授 業 科 目 名	地 域 看 護 学 実 習	担 当 教 員	矢 島 正 栄
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年
単 位 (コ マ 数)	3 単 位	必 修	講義室 -
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
		<p>1. 目的 市町村・保健所にける地域看護活動の展開方法と市町村・保健所保健師の役割を学ぶ。</p> <p>2. 方法 1)家庭訪問実習 実習場所:高山村 実習内容:受け持ち事例への家庭訪問による継続援助をとおして、個別援助の展開方法と個別援助活動から地域の健康問題を把握する視点を学ぶ。 実習期間:4月～5月 学内実習 6月～7月 家庭訪問の実施</p> <p>2)市町村(保健センター)・保健福祉事務所実習 実習場所:市町村保健センター、保健福祉事務所 実習内容:実習施設における地域保健活動の実際と、そこに勤務する保健師の活動をとおして地域看護活動の展開方法と保健師の役割を学ぶ。 実習期間:9月～10月</p>	
	テキスト		
	参考書		

授 業 科 目 名	地 域 看 護 学 実 習	担 当 教 員	小 林 亜 由 美
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	後 期
単 位 (コ マ 数)	1 単 位	必 修	講義室 -
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
		<p>1. 目的 在宅ケアに関わる援助技術、在宅療養を支える地域ケアシステムとそれに関わる専門職の役割を学ぶ。</p> <p>2. 方法 実習場所:在宅介護支援センター 実習内容:地域における在宅介護支援センターの機能と関係職種の活動の実際をとおして、在宅療養を支える地域ケアシステムとそれに関わる専門職の役割を学ぶ。 実習期間:9月～10月</p>	
	テキスト		
	参考書		

授 業 科 目 名		国 際 保 健 活 動 論 実 習	担 当 教 員	矢 嶋 和 江	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	後 期	
単 位 (コ マ 数)		1 単 位	選 択	講 義 室	-
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	国際協力の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の宗教や人種、文化の違いから派生する問題について考える。 ・政治システムや経済構造が開発に与える影響について考える 		国際協力の意義	
2 ~ 4	世界の保健問題の理解	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康問題の格差 <ul style="list-style-type: none"> ・生活と環境 ・貧困と健康問題 ・栄養と健康問題 ・感染症対策 2. 母子保健とジェンダー <ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクティブヘルスの視点から考える。 ・伝統的医療、民族としての慣習 		世界の保健問題の理解	
5	国際協力を実践している機関 求められる看護職の役割	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際協力の歴史的経過と現状 国際協力の流れと日本の取り組み 2. 援助機関の役割と途上国の援助ニーズ 3. 日本の保健医療分野における国際協力看護職に求められる役割 		国際協力を実践している機関 求められる看護職の役割	
6		<ol style="list-style-type: none"> 1. (VTR) 開発途上国の保健問題について、問題の派生する要因、対策、今後の課題などについてグループ討議 			
テキスト					
参考書					